公認心理師受験資格に関わる読み替え科目一覧（30.03.06更新版）

大正大学大学院臨床心理学専攻

|  |  |
| --- | --- |
| 大学院における必要な科目 | |
| 大学院における必要な科目名 | 具体的な科目名の例 |
| 保健医療分野に関する理論と支援の | Ｍ精神医学特論（97～16） |
| 展開 | Ｍ神経心理学特論（00～03、07～10、12、14、16）  臨床心理学特論Ⅰ＜神経心理学特論＞（97、98） |
| 福祉分野に関する理論と支援の展開 | Ｍ発達心理学特論（99～06、09、10、12～14、16）＊ |
|  | 障害児教育特論（97、98）＊  Ｍ障害者（児）心理学特論（99～09、11）＊  Ｍ臨床心理学特論＜高齢者の心理＞（01～05）  Ｍ臨床心理学専門特論Ｂ＜関係発達＞（08）  Ｍ臨床心理学専門特論Ｂ＜子どもの福祉における心理臨床＞（09）  Ｍ臨床心理学専門特論Ａ＜学校における「軽度発達障害」児への援助とコンサルテーション＞（09）＊  Ｍ臨床心理学専門特論Ａ＜パトリシア先生＞（13、15） |
| 教育分野に関する理論と支援の展開 | Ｍ学校臨床心理学特論（99～13、15）  臨床心理学特論Ⅳ（学校臨床心理学）（97,98）  障害児教育特論（97、98）＊  Ｍ障害者（児）心理学特論（00～09、11）＊  Ｍ発達心理学特論（99～06、09、10、12～14、16）＊  Ｍ臨床心理学専門特論Ｂ＜関係発達＞（08）  Ｍ臨床心理学専門特論Ａ＜学校における「軽度発達障害」児への援助とコンサルテーション＞（09）＊ |
| 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開 | （Ｍ臨床心理面接特論Ｂ(14～16)）  Ｍ関係法規特論（97～05、08～12、14、16）  Ｍ社会問題特論（98～09） |
| 産業・労働分野に関する理論と支援の展開 | Ｍ集団力学特論（99～03、05～09、11、13、15、16）  Ｍ臨床心理学特論Ａ（14） |
| 心理的アセスメントに関する理論と実践 | 臨床査定基礎論（97、98）  Ｍ臨床心理学査定特論Ａ・Ｂ（99～16） |
|  |  |
| 心理支援に関する理論と実践  ①力動論に基づく心理療法の理論と方法  ②認知論・行動論に基づく心理療法の理論と方法  ③その他の心理療法の理論と方法 | 臨床心理学基礎論（97、98）  Ｍ臨床心理学特論（99～01）  Ｍ臨床心理学特論Ａ・Ｂ（06～16）  Ｍ臨床心理学面接特論Ａ・Ｂ（99～16）  臨床心理学特論Ⅱ＜認知・行動的アプローチ＞（97,98）  行動理論特論（98）  Ｍ臨床心理学専門特論Ｂ＜認知行動療法＞（13、15）  臨床心理学特論Ⅲ＜フォーカシングと体験過程療法＞（97） |
| 家族関係・集団・地域社会における | Ｍ地域援助特論（00～09、11、13、15） |
| 心理支援に関する理論と実践 | Ｍ家族心理学特論（00～06、08～10、12、14、16）  Ｍグループアプローチ特論（13～16）  臨床心理学特論Ⅵ＜集団療法およびコミュニティ・アプローチ＞（97,98）  M臨床心理学研究法特論＜集団精神療法＞（99） |
| 心の健康教育に関する理論と実践 |  |
| 心理実践実習（450時間以上） | Ｍ臨床心理実習ＡＢ（99～16）  Ｍ臨床心理基礎実習ＡＢ（00～16） |

※修了年度によって、開講科目が異なります。（　　　）内数字は開講年度です。

※　＊…他の領域と重複している科目です。

原則として、一貫して開講されている科目を原則にして、判断してください。

その上で必要な場合に、都度に開講されてきた専門特論などの科目や（　　　）内の科目を活用してください。

※移行措置の条件（どの領域を何科目履修していればよいか）につきましては、下記の3つをすべて満たしている場合となります。

①「保健医療分野に関する理論と支援の展開」、「福祉分野～」、「教育分野～」、「司法・犯罪分野～」、「産業・労働分野」の中で、「保険医療分野～」を含む3科目以上を履修していること。

②「心理的アセスメント～」・「心理支援～」・「家族関係・集団～」・「心の健康教育～」の中で2科目以上履修していること。

③「心理実践実習」を履修していること（施設の分野および時間数は問わない）

その上で分からないことは、公認心理師問い合わせ先（koninshinrishi@mail.tais.ac.jp）に問い合わせてください。